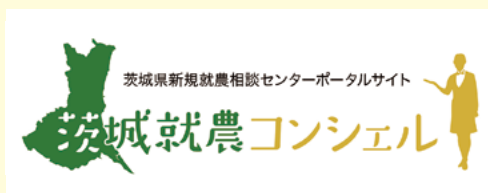


茨城県
新規就農
支援ガイド



撮影協力:下妻市果樹組合連合会

茨城で農業をはじめ
あなたを応援します!!



茨城の農業

茨城県は、温暖な気候と平坦な広い農地に恵まれた農業産出額全国3位の農業県で、園芸部門（いも類、野菜、果実、花き）の割合が高く、カンショ（サツマイモ）やメロンなど産出額上位の品目が多いのが特徴です。また、首都圏への重要な食糧供給基地としての役割も果たしています。

県は大きく5地域に区分され、各地域で特色のある農業が展開されています。主な産地や品目などは以下のとおりです。

県北

- 有機農業モデル団地
- 観光果樹産地（リンゴ、ブドウ、ナシ）
- 直売所向けの多品目野菜
- 奥久慈ブランド野菜（ネギ、ナス）
- 新規参入者等による奥久慈イチゴ産地
- 奥久慈の枝物（ハナモモなど）
- 良食味米産地
- 畜産（繁殖和牛、肉用牛、奥久慈しゃも）

県央

- 野菜産地
（ニラ、メロン、レンコン、ネギ）
（業務用キャベツ）
- 米麦などの大規模土地利用型農業
- 全国一の干し芋（ほしいも）産地
- 花き産地（コギク）
- 畜産（酪農、採卵鶏）

鹿行

- 施設野菜の大産地
（メロン、イチゴ、トマト、ミニトマト、
ピーマン、コマツナ、ミズナ
オオバ、ハウレンソウ、パクチャー）
- 露地野菜（根菜）の大産地
（カンショ、ニンジン、エシャレットなど）
- 温暖な気候を活かした花き産地
（センリョウ、ワカマツ、輪菊）
- 畜産（養豚）
- 地域ブランド米

県西

- 露地野菜（葉菜類）の大産地
（レタス、ネギ、ハクサイ、キャベツ）
- 果菜類の産地
（こだまスイカ、イチゴ、トマト、キュウリ、
メロン、ズッキーニ、ニガウリ）
- 果樹（ナシ）
- 畜産（肉用牛、養豚、採卵鶏）
- 米麦などの大規模土地利用型農業

県南

- 水稻の大規模経営
- 生産量日本一のレンコン産地
- 果樹（ナシ、ブドウ、クリ）
- 野菜産地（ネギ、イチゴ、トマト、カボチャ）
- 花き産地（グラジオラス、コギク）
- 畜産（繁殖和牛、養豚）
- 有機農業
- 都市農村交流の取り組み

県央

県北

鹿行



※上記の記載内容は、地域農業のイメージや代表的な品目などであり、全てを網羅しているわけではありません。

就農までの道すじ

就農までは、大きく以下の流れとなります。段階を踏んで、就農について検討し、準備を進めましょう。



●農業体験や基礎的な知識を得られる講座等

講座名等	概要	問い合わせ先
いばらき営農塾	茨城県で就農希望の方、または就農間もない方向け。水曜（夜）と土曜を活用した講座。年2回募集。	茨城県立農業大学校研修科（茨城町） TEL.029-292-0419
農あるくらし講座	農業に関心・興味がある方～農業を志す方向け。年4回募集。隔週土曜開催。	
チャレンジ・ザ・農業体験・研修	基礎的な農業体験～就農をめざす方向け。通年募集。稲作、有機農業、畜産など5部門。1日～3か月の4コース。	日本農業実践学園（水戸市） TEL.029-259-2002
フリースタイル農業実践コース	「生きがい」「健康」「地域貢献」「自家消費+αの販売」を目的として、自分らしい農業ライフをデザインしたい方向け。1年間の通学で、週1、週3、週5の3コース。	
チャレンジ！ファームスクール	農業の基礎～就農をめざす方向け。半年、1年の2コース。通年募集。	
鯉淵学園eラーニング	オンライン講座。農業知識を身につけたい方～専門的な知識、応用も学びたい方向け。3か月と6か月の2コース。通年募集。	鯉淵学園農業栄養専門学校（水戸市） TEL.029-259-2811

独立就農をめざす

農業は魅力的な職業ですが、決して楽な仕事ではありません

- **農業の特異性を知っていますか**
自然が相手、身体が資本、先行投資型、地域に根差した職業です。
- **家族の理解を得ていますか**
ライフプランを立てておきましょう。家族がいちばんの応援団です。
- **自己資金はありますか**
自己資金がない、助成金をあてにしての就農は、大きなリスクを伴います。
- **農業は一人で出来ると考えていませんか**
仕事と生活が密着しています。地域住民と積極的なコミュニケーションは必須です。



就農を
考える際に、
再確認
しましょう



就農に向けて準備する

①具体的な営農ビジョンを描く

何を、どこで、何人で、どのくらいの面積で生産し、どのように販売し、どのくらいの所得を得たいのか、おおまかな営農ビジョンを具体的に描いてみましょう。

年間 250 万円[※] の農業所得を得るために必要な農業経営の指標 1a=100㎡、1ha=100a

経営類型	経営規模		生産方式	
	経営面積	作付面積	経営の特徴	主な資本装備
1 普通作	水田 1,000a	水稻（主食用米） 600a 水稻（飼料用米） 400a	親族からの継承を前提とした普通作経営	トラクター 1 台、コンバイン 1 台 乾燥機 1 台
2 施設野菜（イチゴ）	施設 15a	イチゴ 15a	イチゴ専作経営	パイプハウス 15a 育苗ハウス 1 棟 ウォーターカーテン一式 炭酸ガス発生装置
3 施設野菜（トマト）	施設 20a	トマト 20a	トマト専作経営	パイプハウス 20a 灌水設備一式、暖房設備一式 トラクター 1 台 動力噴霧器 1 台
4 露地野菜（レンコン）	水田 80a	レンコン 80a	レンコン専作経営	トラクター 1 台、水圧掘取機 1 台 動力噴霧機 1 台、管理機 1 台
5 露地野菜（ネギ）	普通畑 70a	ネギ 70a	ネギ周年栽培	育苗ハウス 1 棟、トラクター 1 台 ネギ移植機 1 台、動力噴霧機 1 台 ネギ皮剥き機 1 台
6 果樹（ブドウ）	樹園地 30a	ブドウ（雨よけ） 30a	欧州系品種を取り入れた直売主体の果樹経営	簡易被覆ハウス（雨よけ） 30a 直売施設兼作業所 1 棟 スピードスプレーヤー 1 台 乗用型草刈機 1 台、運搬車 1 台
1～6 共通	◆農地は全て借地とし、農業労働力は本人＋臨時雇用者とする。 ◆機械・施設の減価償却費は、中古機械の導入等を考慮し 1/2 は償却済みとした。			

「新たに農業を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標」

（茨城県農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針（令和8年3月）より改編）

※）年間農業所得 250 万円…青年等就農計画（p.5）等において、新規就農者が目標とすべき所得水準

②就農に向けて長時間実践的に学ぶ

農業研修教育施設、先進農家、農業法人等で学ぶ。

●研修時に活用できる制度

■就農準備資金（申請先：県）

研修期間中の研修生に対する資金助成

対象者／就農予定時の年齢が 50 歳未満の研修中の研修生で、要件を全て満たす者

助成額／月 13.75 万円（165 万円 / 年）、最長 24 か月（2 年間）

主要要件／①研修終了後、独立・自営就農、雇用就農又は親元就農すること

（親元就農者は就農後 5 年以内に経営継承、あるいは独立・自営就農すること）

②前年の世帯所得が原則 600 万円以下の者

③茨城県認定の研修機関等（次ページ）で研修をすること

※採択には審査があります

	研修機関名	所在地	研修の特徴	問い合わせ先
茨城県認定の研修機関	那珂市農業担い手確保・育成協議会 MIRAI	那珂市	研修後に那珂市で就農する方を受け入れる。多品目で研修が可能。	担当：農政課 TEL：029-298-1111
	笠間・城里地域有機農業推進協議会	笠間市、城里町	笠間市及び城里町で有機農業で就職を希望する方を受け入れる。	担当：涌井 TEL：090-2426-4612
	なめがたしおさい農業協同組合	神栖市	研修品目はピーマン。研修後、JA ピーマン部会員となる方を受け入れる。	担当：しおさい地域センター TEL：0299-93-5527
	石岡市(朝日里山ファーム)	石岡市	研修後に石岡市に就農する方を受け入れる。有機農業コース、果樹・施設園芸コース。	担当：農政課 TEL：0299-43-1111
	やさと農業協同組合(ゆめファームやさと)	石岡市	有機農業を学ぶ。就農後は、やさと農業協同組合の部会を通じ出荷可能。	担当：営農指導課 TEL：0299-44-1661
	北つくば農協地域農業振興協議会新規就農支援プロジェクト	筑西市、桜川市、結城市	研修後に JA 北つくば管内で就農する方を受け入れる。施設園芸コース、果樹コース。派遣先農家で技術や経営を学ぶ。	担当：営農企画課 TEL：0296-25-6602
	つくば市谷田部農業協同組合産直部会	つくば市	環境保全型農業で多品目研修。就農後には部会へ加入し、契約販売先へ出荷	担当：営農部営農課 TEL：090-8577-9754
	茨城県農林振興公社	水戸市	県域の研修機関。派遣先農家で農業技術を学ぶ。	担当：担い手支援部 TEL：029-350-8686
農業研修教育施設	茨城県立農業大学校	茨城町、坂東市	学校に入学して学ぶ。農業部は茨城町、園芸部は坂東市にキャンパス。	担当：農業部 TEL：029-292-0719
	日本農業実践学園	水戸市	学校に入学して学ぶ。	代表 TEL：029-259-2002
	鯉淵学園農業栄養専門学校	水戸市	学校に入学して学ぶ。	代表 TEL：029-259-2811

■ニューファーマー育成研修助成事業
(申請先：農林振興公社)

就農希望の研修生を長期受け入れる農家への資金助成
 対象者／公社理事長が指定する研修生受入農家
 助成額／月 10 万円以内、最長 12 か月 (1年間)
 主な要件／研修生の就農予定時の年齢が 50 歳未満の者
 研修生が就農準備資金、雇用就農資金に該当しないこと

■その他

- ・地域おこし協力隊 (農業で募集の場合) (問い合わせ先：市町村)
 - ・市町村の研修制度 (問い合わせ先：市町村)
- ※茨城就農コンシェルにも市町村の支援制度に関する情報を掲載しています。

■雇用就農資金
(雇用就農者育成・独立支援タイプ)
(申請先：県農業会議)

雇用元の農業法人等に対する助成
 対象者／雇用時に 50 歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等
 助成額／最大 60 万円 / 年、最長 48 か月 (4年間)

③農地を確保する

特に新規参入で就農する方にとって、いちばん高いハードルです。農地探しに 1 年以上かかることもあります。情報を集め、候補農地の日当たり、場所、面積、形、水はけ、傾斜などの状況は、必ず自分の目で確認しましょう。

[農地情報の主な入手方法]

- ・就農候補地 (市町村) の農業委員会*へ問い合わせる ※農地中間管理機構と情報を共有しています
- ・研修先農家、知り合いなどから紹介してもらう
- ・インターネットから探す (「eMAFF 農地ナビ」など)

④就農支援制度を確認する

活用できる支援制度を、上手に活用しましょう。制度により金額、要件が異なるので、必ず内容を確認しましょう。制度活用後に就農しなかった場合など、全額返還となることもあります。

●就農時に活用できる制度

■経営開始資金（申請先：市町村）

農業経営を開始する方に対する資金助成

対象者／就農時 50 歳未満の認定新規就農者

助成額／月 13.75 万円（165 万円 / 年）、最長 36 か月（3 年間：経営開始後、3 年度目分まで）

主な要件／①新規参入者、もしくは親元就農者（就農 5 年以内に経営継承した者）のうち、
新規参入者と同等の経営リスクを負っていると市町村に認められる者
②前年の世帯所得が原則 600 万円以下の者
（詳しくは、市町村へお問い合わせください）

■経営発展支援事業（申請先：市町村）※経営開始資金との併用不可

〔通常枠〕

農業経営を開始する方の機械・施設等の導入を支援する制度

対象者／就農時 50 歳未満の認定新規就農者で、要件を全て満たす者

支援額／補助対象事業費上限額 1,000 万円（補助率：3/4（国 1/2、県 1/4））

主な要件／①自己負担分について融資を受けること
②事業実施の年度又は前年度に農業経営を開始すること（補正の場合は前前年度含む）

〔地域計画早期実現支援枠〕

機械・施設等の修繕・移設・撤去等や、法人化、専門家活用等の経営移譲に向けた取組を支援する制度

対象者／就農時 50 歳未満の認定新規就農者、認定農業者または経営移譲者等との共同申請で、要件を全て満たす者

支援額／補助対象事業費上限 1,800 万円（補助率 1/2（国 1/3、県 1/6））

主な要件／① R5 年度以降に農業経営を開始した個人・法人（または共同申請）
②将来像が明確化された地域計画または目標集積率が現状集積率を上回る地域計画であること

■新規就農者チャレンジ事業（申請先：市町村）※経営開始資金との併用不可、受給終了後は対象

早期に経営発展するために必要な農業用機械・施設等の導入・修繕・移設・撤去、機械のリース導入等を支援する制度

対象者／就農時 65 歳未満の認定新規就農者で、要件を全て満たす者

支援額／補助対象事業費上限 個人 5,000 万円、法人 1 億円（補助率 3/10、リース定額（取得額相当の 3/7）（国））

主な要件／①営農地が属する地域計画が目標集積率の要件を満たしている、または事業実施翌年度までに満たすことが確実であること
②経営発展支援事業を過去に活用している者も、同事業の成果目標（青年等就農計画の目標）を達成、または達成可能と見込まれる場合等は対象

■青年等就農資金（申込先：日本政策金融公庫）

公庫が、就農に必要な資金を無利子で融資する制度

対象者／認定新規就農者

融資限度額／3,700 万円（無利子、償還期間 17 年以内）

※融資の際は審査があります

■その他

・市町村の支援制度（問い合わせ先：市町村）
※茨城就農コンシェルにも掲載しています。

認定新規就農者になりましょう

就農希望者*が青年等就農計画を作成し、計画が市町村長から認定された場合、「認定新規就農者」となります。

※経営開始後 5 年以内の青年等を含む

対象者／市町村の区域内において新たに農業経営を営もうとする青年等*であって、青年等就農計画を作成して市町村から認定を受けることを希望する者。

※青年（原則 18 歳以上 45 歳未満）、知識・技術を有する者（65 歳未満）、これらの者が役員の過半を占める法人。

青年等就農計画の達成目標／①所得目標 250 万円以上 / 年 ②年間総労働時間 2,000 時間以内

（問い合わせ先）就農予定地の市町村農政主務課へ



いばらきの先輩就農者に聞きました!

大山 健一郎さん 茨城町(東京都出身)
栽培品目/ルッコラ、セルパチコ、ミント、オクラ等



Q就農のきっかけは

以前から、会社員として働くより自分で何か経営したいと考えており、前職でレストランをプロデュースしている時に、農家と繋がりを持ったことで農業経営に興味を持ちました。そこから、就農や移住の情報収集のため何県か行ってみて、支援制度が手厚く、ほど良い田舎の茨城町に決めました。場所や作りたい作物を決めていなかったため、就農支援が整っているところに乗りかかりました(笑)

Qもっとも苦労したことは?

営農開始時期がコロナ禍だったので、計画通りの売り上げにならなかったこと。でも、始めに計画通りには行かないことも経験しておいて良かったです。農業は異常気象や自然災害と隣り合わせなので、リスクマネジメントを考えるきっかけにもなりました。

Q農業経営で大事なこと

「もったいないは敵、めんどくさいは味方」と「都合のいい農家」をモットーにしています。農業経営は様々な場面での選択・判断を求められるので、その基準を決めておくことが大事です。また、農作物を栽培しても売れないと経営が成り立ちません。「売れるもの」「求められているもの」を臨機応変に栽培することのできる農業経営を心掛けています。

経歴

35歳 (2018年)

都内総合結婚式場退職
→農業経営に興味を持つ。

36歳 (2019年)

茨城町に移住し、町などの支援制度を活用し2年間研修。

38歳 (2021年)

茨城町で新規就農。露地野菜50aからスタート。

現在 (2026年)

ハウス(60a)を新設し規模拡大。

中村 雄一さん 銚田市(東京都出身)
栽培品目/イチゴ



Q就農のきっかけは

就農を決めた時には、「何を作るか」「どこで営農するか」など具体的には何も決めていなかったのですが、就農の情報を探してしていた中、公社で開催している就農イベント「農場見学&就農相談会」に参加し、イチゴ農家を見学したことがきっかけです。狭い面積で収益を得ることができ、家族経営のシンプルな農業経営が自分の人生設計にぴったりでした。

Qもっとも苦労したことは?

農地の確保です。実は、農地ってあるようでないんです。5年10年と営農する上でイチゴ栽培に適した農地の確保は重要です。水はけや日当たりを何度も確認したり、ハウスや作業場を建てるのに十分な面積が確保できるか地主と相談したりと時間がかかりました。研修先農家の師匠には、栽培技術だけではなく、農地の確保や販売先の紹介など様々な支援をしてもらいました。

Q今後の目標は?

1億円プレイヤーになること!でも売上だけではなく味で勝負したいです。イチゴは甘いだけではなく、ほど良い酸味、香りや食感のバランスが重要です。色々なイチゴを食べたけど、やっぱり研修先農家の師匠が作るイチゴは美味しいです。そんな師匠の下で研修したので、食味にはこだわっていきたいですね。

経歴

29歳 (2019年)

不動産会社退職。就農イベントに参加し情報収集。

31歳 (2021年)

小美玉市のイチゴ農家で2年間研修。

33歳 (2023年)

銚田市で新規就農。

現在 (2026年)

売上が増加し、新たな販路も開拓中。

>>>>>> 農業法人等に就職する(雇用就農) <<<<<<<

農業法人等とは

法人形態で農業経営を営む会社が農業法人です。
ここでは、法人化していない個人経営を含めて「農業法人等」と呼びます。

農業法人等に就職するメリット

- ・社員として農業に従事するため、給料を得ることができ、自分で農業経営を始める際の農地確保や施設機械の準備は不要です。
- ・勤務を通して得た経験を、将来、自身が独立就農する際に活かす道もあります。

法人等を決める際のポイント

- ・応募の前に、見学やインターンシップをし、法人等の規模や雰囲気自分に合うかなど身をもって確認しましょう。
- ・給料、休日、社会保険の有無、働き方などの待遇を、必ず事前に確認しましょう。

就職までの流れ

- ① 情報収集、相談
就職相談会、セミナー、会社見学など
- ② 就職先の検討、選定
茨城就農コンシェル、Web 求人サイト、ハローワークなどから情報収集
- ③ 会社見学、インターンシップ
会社や仕事内容を確認する
- ④ 応募、面接
- ⑤ 試用期間、採用



就農相談窓口

※来所による相談をご希望の場合は、事前に電話等でご連絡くださいますようお願いいたします。

県内の経営・普及部門、農業改良普及センター

名称	連絡先	管轄地域
県北農林事務所 経営・普及部門	TEL.0294-80-3340	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市
常陸大宮地域農業改良普及センター	TEL.0295-53-0116	常陸大宮市、大子町
県央農林事務所 経営・普及部門	TEL.029-227-1521	水戸市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村
笠間地域農業改良普及センター	TEL.0296-72-0701	笠間市、城里町
鹿行農林事務所 経営・普及部門	TEL.0291-33-6192	鹿嶋市、神栖市、鉾田市
行方地域農業改良普及センター	TEL.0299-72-0256	潮来市、行方市
県南農林事務所 経営・普及部門	TEL.029-822-7242	土浦市、石岡市、かすみがうら市
稲敷地域農業改良普及センター	TEL.029-892-2934	龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町
つくば地域農業改良普及センター	TEL.029-836-1109	取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町
県西農林事務所 経営・普及部門	TEL.0296-24-9206	下妻市、筑西市、桜川市
結城地域農業改良普及センター	TEL.0296-48-0184	結城市、常総市、八千代町
坂東地域農業改良普及センター	TEL.0297-34-2134	古河市、坂東市、五霞町、境町

県域の関係機関

名称	連絡先	就農支援の内容
茨城県農林水産部農業経営課	TEL.029-301-3844	就農準備資金
茨城県農業会議	TEL.029-301-1236	雇用就農資金
JA全農いばらき農機営農支援部営農支援課	TEL.029-291-1012	JA 関係の就農支援情報提供



茨城就農コンシェル 検索

〈問合せ先〉

茨城県新規就農相談センター
(公益社団法人 茨城県農林振興公社)

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3118番地1
TEL.029-350-8686(直通)FAX.029-239-7097

茨城県の就農情報を集めた、ポータルサイトです。就農相談会などイベント情報や県内農業法人等の求人情報・就農支援制度など、様々な情報を提供しています。

URL <https://www.ibanourin.or.jp/concier/>